



花 王

須賀川市立第三小学校
学校だより NO. 10
令和元年12月18日
発行者 校長 須田元大

○深く考える子ども ○明るく思いやりのある子ども ○強くたくましい子ども

○スマートフォン等の使用について

先日、ツイッターを悪用した少女誘拐が連続したことを受けて、スマートフォン等の所持について調査を行いました。本校でもかなり多くの児童が「自分が使う」スマホを所持していることがわかりました。

スマホは保護者が判断して持たせる物なので、学校としてそれを規制したり、推奨したりする物ではないと考えています。ただ、小学生がSNSを使うことは賛成できません。自分の家族と保護者が認めた連絡先とだけ通話や文字情報のやりとりに限定し、小学生を対象としたフィルタリングのかかった物であれば、安全性はある程度確保されているとは思いますが、それでも定期的なチェックは欠かせないと思います。

自分の机の上に置いて頻繁に入ってくるラインやツイッター、インスタ等の着信により家庭学習に全く集中できず、そればかりか、成長期の脳へのダメージも指摘されている中で（医学的なエビデンスは未確認）小学生がSNSを活用する効果、必要性は全くないと私は思います。ただの娯楽であれば、一定の規制は必要です。



ただ、そうした一方で「ユーチューバーになりたい」中学生が激増しているようです。また、Eスポーツは既に市民権を得て、職業として成立している人も数多く出てきています。子どもの夢は大切にしたいので、頭ごなしに否定したり、安易に賛同したりしないで、仕事として成立するユーチューバーやEスポーツの関係者がどの程度いるのか。その人たちは日常的にどのような努力をし、またどのような能力が求められるのか、どのようなキャリアを積んでいけば職業として成立する道が拓けていくのか、等についてしっかりと説明してあげることが大切だと思います。もちろん、それ以前に自分のことや撮った写真や動画をネット上にあげることが、どれだけ危険なことなのか、そしてどのような配慮をすれば友だちや他人に迷惑をかけないかを保護者の皆さん自身が理解し、子どもに指導しておくことは必須だと思います。



これから冬季休業に入り、そうしたデジタルデバイスを使用する機会が多くなることが予想されます。使用目的や使用時間について、保護者の皆さんの管理の下でかしく使用させることが大切であると思います。

◎各種コンクール入賞者の紹介

◇「家庭の日」作文コンクール

<優秀賞> 2年

◇青少年読書感想文福島県コンクール

<佳作> 5年

◇地区書写コンクール

<推選> 1年
5年
6年
2年

◇地区音楽祭創作コンクール

<特選> 5年 6年

◇地区造形展

<県推奨> 1年 2年 3年
5年

◇第32回明るい社会づくり運動作文コンクール

<県知事賞> 3年
<須賀川市長賞> 6年
<地区協議会会長賞> 6年
<入賞> 2年 3年
6年

◇新春書道展席書大会1次審査合格者

1年 2年 3年
6年

◇福島県小学校児童画展

<金賞> 5年
<入賞> 3年

◇福島県書道連盟選抜展

<福島支局賞> 2年
<ラジオ福島賞> 4年

◇JA共済福島県小中学生書道コンクール

<奨励賞> 6年

◇阿武隈川上流児童絵画コンクール

<事務局長賞> 4年

◇須賀川市文化祭文芸大会俳句の部

<佳作> 3年

◇ふくしまエコライフ絵はがき

コンテスト2019

<優秀賞> 3年
<奨励賞> 6年

◎合唱部が金賞を受賞！

第36回福島県声楽アンサンブルコンテストは12月15日(日)に福島市音楽堂で開催されました。

この日に向けて、寒い中音楽室や体育館で練習してきた子どもたちは、緊張感のある中でも伸び伸びとした歌声で「金色の実」を歌いきり、会場で応援して下さった保護者の皆さんに改めて感動を与えました。

結果は、出場した県内19小学校の中で2位となり、5位までに与えられる金賞を受賞しました。